



2014.5.5

No. 244

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会 発行責任者 出村良平
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

第85回全道統一メーデー大会 200団体・5千名結集 貧困と格差を無くし、「働くことを軸とする安心社会」の実現を



労働者の祭典を祝うかのように札幌大通公園の桜が咲く中、今年も5月1日、第85回全道メーデーが開催された。

札幌の会場には200団体5,000人が参加し、全道では138地域でメーデーが開催され、6万人が参加した。

今回も、式典が始まる前に各種イベントが行われ、ダンスパフォーマンスや恒例のお楽しみ抽選会に参加者は盛り上がっていた。

お楽しみ抽選会の目玉賞品である「ゆとり切符」は、一昨年の東日本大震災以降、復興・再生協力の意味を込めたものとし、今年は岩手県「花巻温泉」への招待券が用意され、運輸労連の組合員とJP労組退職者の会の方が見事当選された。

前段のイベントは、当選者の喜びの声で終了し、舞台はメーデーの式典へと移った。はじめに挨拶に立った工藤和男大会長（連合北海道会長）は、「2014春季生活闘争は今後、未解決の地場・中小組合への波及効果を生み出す取り組みに総力を挙げる」と、今後の春期生活闘争での決意を述べた。更に、政府が押し進めようとしてい

る労働者保護ルール改悪問題については、「痛んでいる日本の雇用社会の危機を放置し、働かせる側の論理に大きく傾斜した考え」と断じ、当面する政治課題については、来年の統一自治体選挙を「今後の国政選挙の前哨戦」と位置づけ、全力で取り組むとした。

また、来賓として挨拶に立った上田札幌市長、横路民主党北海道代表からも、「このメーデーをきっかけに、私たちが築いてきた平和な国家を堅持していくための闘いに意志を固めていかねばならない」、「今の大きな政治の流れに抵抗し、対抗する力を北海道から作り上げていくメーデーにしましょう」と、参加者に連帯を呼びかけた。

その後、メーデー宣言と特別決議2本（労働者保護ルールの改悪に断固反対・特定秘密保護法の廃止に向けた取り組みを強化）を採択して式典は終了し、引き続き3グループに分かれて札幌市内のパレード行進を行い、小雨降る中、大きな声で札幌中心部にシュプレヒコールを響かせ、市民にアピールをした。



メーデー宣言

私たちは本日、第85回全道メーデー大会を迎えた。

3.11東日本大震災から3年が経過した。しかし、未だに26万人以上の方々が避難生活を余儀なくされ、震災関連死も後を絶たないなど、依然として厳しい生活や苦悩が続いている。私たちは「あの日」を記憶にとどめ、被災地の方々に寄り添って、一日も早い復興・再生をなすとげ、希望ある社会にしていかなければならない。

2014春闘において、連合北海道は全国の仲間と連帯して、所得配分の適正化をめざし、月例賃金引き上げにこだわり、働くものの総力を結集して闘いを進めてきている。十分とはいええないものの、確実に賃金闘争は前進している。さらに中小地場、パート・非正規労働者に波及させ、賃金カーブの維持や最低賃金の引き上げなど、すべての労働者の底上げを勝ち取っていかなければならない。

日本経済は、「アベノミクス」によって右肩上がりつつあるが、地域間・企業規模間格差、労働者の生活は一向に改善しておらず、市場における強者が得た利益が弱者に流れ落ちるとする「トリクルダウン」の経済政策では社会の持続可能性は立ちゆかない。むしろ、非正規労働者やワーキングプア、生活保護世帯は増大し、貧困の拡大と固定化が進むなど、社会問題化している。さらに、労働法制の規制緩和の動きなど、深刻さを増す状況にある。

私たちは、社会福祉の拡充を進めるとともに、労働者保護ルールの改悪を許さず、適正な成果配分を実現し、貧困解消・格差是正と傷んだ雇用の復元を図っていく。

世界は自由と平和を脅かす情勢が続いている。いまだに繰り返される核開発・核実験問題、そして世界各地で起きている地域紛争やそれにとまらぬ難民の急増など深刻な状況にある。我が国においても領土問題など近隣諸国との緊張関係が高まり、特定秘密保護法の強行採決や集団的自衛権の憲法解釈の変更の動きなど、平和や民主主義を脅かす状況が進みつつある。

私たちは、立憲主義と憲法の三大原則を堅持し貫徹するとともに、世界の恒久平和を希求し、人権侵害救済や核不拡散条約(NPT)再検討会議に向けて核兵器廃絶を訴えるなど、あらゆる紛争の平和的解決を求めて邁進する。長年の課題である米軍基地問題についても「整理・縮小」「日米地位協定の抜本的改定」をめざし全力をあげる。

メーデーは国際連帯の日である。

私たちは、「国際労働組合総連合」(ITUC)と連携し、グローバル化による貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害、紛争やテロなどをなくすため、また、「ディーセントワーク」の実現のために、闘いを強める。

そして、今こそ、すべての働く者の連帯とNPO・NGOとの連携で貧困と格差を撲滅し、「働くことを軸とする安心社会」を実現することを宣言する。

2014年5月1日
第85回 全道メーデー大会

「特定秘密保護法」廃止を求める全道統一行動実施 道民への周知目指し全道8カ所で一斉に街宣や署名活動を展開

昨年12月、安倍政権は、反対する多くの国民の声を無視し、数の力を背景に、特定秘密保護法を強行採決した。特定秘密保護法が、「国民の知る権利」や「表現・言論の自由」を脅かし、民主主義を根底から覆す危険性があることから、「特定秘密保護法の廃止を求める北海道実行委員会（連合北海道・北海道平和運動フォーラム・市民ネットワーク北海道）」は、4月19日、大通西3丁目と駅前通地下広場において、廃止を求める街頭宣伝および署名活動を実施した。また、こうした署名の取り組みを広く道民に周知するため、この日は全道8カ所で一斉に行動展開をした。

最初に挨拶にたった連合北海道工藤和男会長は「特定秘密保護法は、言論や表現、報道の自由、国民の知る権利を抑制し、国家秘密を優先するなど、国民の権利を保障し、国家権力を抑制するという立憲主義や民主主義を真っ向から否定するものだ。こうした戦前を彷彿させる法律を断じて認めるわけにはいかない」と強く訴えた。続いて挨拶にたった北海道平和運動フォーラム中村誠吾代表は「この法律を廃止しようと立ち上がった、国民の知る権利・命を守る運動にご協力をお願いしたい」と道行く市民に呼びかけた。また、この行動へ応援に駆けつけていただいた札幌弁護士会藤本明弁護士は「情報を正しく伝えるためにメディアの取材が保障されなければ、メディアの役割は果たされない。それが罰則で制約されてしまう可能性がある」と法律の問題点を指摘した。引き続き挨拶にたった市民ネットワーク北海道佐藤のり子代



表は「安倍首相の暴走をくい止めるために、異議ありの声をあげ、多くの仲間とうねりを作っていく」と決意を述べた。最後に民主党北海道勝部賢志幹事長は「これまで作り上げてきた、日本の民主主義が覆される法律が制定されてしまった。私たちは情報を知る権利があるんだということをもう一度考えてほしい」と市民に問いかけた。

また、署名にご協力をいただいた市民の方から「戦争の時代を思い出して本当に怖い」「私たちの知らないところで、何でも決められてしまうなんて、そんなことあっていいのかわからない」など不安の声が寄せられた。実行委員会はこの声を受け止め、今後も廃止を求め全力で運動を進めていく。

※尚、5月10日、24日にも、大通西3丁目目で署名活動が行われます。組合員のご協力をお願いします。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=591>



2014春闘地場中小労組が終盤のヤマ場迎える 函館地区地場・中小労組解決促進集会開催

2014春季生活闘争は、第一次、第二次、さらには中小労組の闘いを経て、いよいよ地場・中小労組が終盤のヤマ場を迎える時期となった。

函館地区においては、地場・中小労組の妥結が遅れ気味の状況であり、官民一体で解決を促進するため、4

月17日に約200名が結集し、解決促進集会を開催した。

主催者を代表して挨拶に立った、荒木函館地区連合会長からは、昨年に引き続き、実施した春闘期間中の地場中小企業経営者との意見交換や大手産別の妥結状況と道南における温度差に触れ、増税に対する各企業経

営側の警戒心に伴う慎重姿勢が中小企業労働者の賃上げにブレーキをかけている状況であるが、増税により可処分所得が低下することがないよう官民労組一体で闘い抜こうと呼びかけた。

地元民主党を代表して参加した高橋函館支部副代表（北海道議会議員）からは、労働者派遣法の改悪等、労働者保護ルールを守る連合の政策・制度要求に触れると共に道議会における活動状況も報告され、労働者側に立った活動を展開していくと挨拶があった。

連合北海道から参加した岡島副事務局長からは、本春闘における妥結状況等、全国的・全道的な今日の情勢報告があり、反面、道南における状況との温度差を感じた。

本春闘における情勢報告・決意表明は、渡島地域ユニオン中小労連支部亀田清掃労働組合の福士書記長をトップバッターに3名が登壇した。

清掃業界では、消費税増税、ガソリンの値上げ等を理由に賃上げ交渉が難航してきたが、同業種の函館環

境衛生労組が一定の前進が図られたことを切り口に交渉が前進してきたという状況報告がなされた。

次に同ユニオン医療支部を代表して亀田病院労働組合の佐藤委員長からは、4月からの診療報酬改定を受け、現在、その影響を分析し、5月上旬から本格的な交渉に入り、5月下旬には決着を図りたいと医療現場の特殊な事情が説明された。

最後にハイタク部門を代表して、全自交函館地域協議会函館タクシー労働組合の佐々木副委員長から法改正の動向や消費税増税に伴うメーター運賃20円アップの影響により、4月からの乗り控えが顕著に表れていると説明があり、この20円アップもあくまでも消費税増税分ではなく、環境税とのダブル増税の中で賃上げの原資が出てこない厳しい実態が報告される一方で、「4月決着が無理であれば、5月で！」「例えば100円玉一つでも勝ち取っていききたい」と力強い決意表明がなされた。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=571>



5月の主な動き

イベントカレンダー

■第85回全道メーデー

1日(木) 09:30/札幌大通公園8丁目

■特定秘密保護法廃止全道統一行動

10日(土) 13:00/札幌大通公園3丁目

■第2回高校生平和大使派遣実行委員会

12日(月) 16:00/連合北海道会議室

■医療・介護保険制度の改悪を許さない高齢者総決起集会

14日(水) 13:30/かでの2・7

■第4回男女平等参画推進委員会

14日(水) 13:30/連合北海道会議室

■第8回中央執行委員会

15日(木) 13:30/連合会館

■第5回判例研究会

15日(木) 18:30/かでの2・7

■高校生平和大使選考会

17日(土) 13:00/ポールスター札幌

■第3回政策委員会

21日(水) 15:00/ポールスター札幌

■第6回憲法講座

21日(水) 18:00/ロイトン札幌

■第8回執行委員会

22日(木) 10:00/連合北海道会議室

■第7回地協事務局長会議

22日(木) 13:30/センチュリーロイヤルホテル

■地協活動推進会議

22日(木) 16:00/センチュリーロイヤルホテル

■オルガナイザー研修会

23日(金) 10:00/TKP

■特定秘密保護法廃止全道統一行動

24日(土) 13:00/札幌大通公園3丁目

■「STOP THE 格差社会!」全国統一全道総決起集会

27日(火) 18:10/きょうさいホール

■地方連合会代表者会議

29日(木) 14:00/福島県

■ブラック企業・ブラックバイト24時間ホットライン

30日(金) 09:00/連合北海道

■第67回中央委員会

30日(金) 10:30/福島県

ゆに・ぽん

2014 ゴルフ場特別企画

ゴルフのおともにご利用ください。